

自宅での生徒スクリーニング

保護者の皆様: 生徒、スタッフ、学校コミュニティの健康と安全維持のため、皆様のご協力が必要です。学校では、病気の持ち込みと感染を防ぐため、厳格なプロトコルと制限が設けられています。以下のような症状がないか、毎日お子さんのチェックをご家庭でお願いします。

主要症状

- 100.4°F(38°C) 以上の発熱
- 寒気
- 咳
- 息切れまたは呼吸困難
- 新たな味覚・嗅覚の喪失

主要症状以外の症状

- 頭痛
- 吐き気または嘔吐
- 下痢
- 疲労
- 喉の痛み
- 筋肉痛/体の痛み
- 鼻詰まりまたは鼻水

お子さんに主要症状が見られる場合:

- お子さんを登校させないで下さい。
- 医療機関を受診し、COVID-19テストを受けられるか検討して下さい。CDCのオンラインツールである [Coronavirus Self Checker](#) にて、いつテストを受けるべきか、また医療機関を受診するべきか判断のお手伝いができます。
- お子さんの学校へ連絡し、症状をお伝え下さい。お子さんがいつ安全に登校を再開できるかを判断するため、いくつかの質問にお答えいただく必要があるかもしれません。

お子さんに主要症状以外の症状が見られる場合は、添付の “Please Keep Ill Students Out of School” ガイドラインに従って下さい。

お子さんがCOVID-19テストで陽性と判明した場合、または陽性者と濃厚接触*があった場合:

- お子さんを登校させないで下さい。
- 学校へ連絡して下さい。

* CDCによると、濃厚接触とは、発症2日前(無症状の場合は検査検体採取の2日前)から感染者が隔離されるまでの間、感染者から6フィート以内に累積15分間以上いた場合と定義されています。

体調の悪い生徒は登校させないで下さい。

下記のリストは学校からの指示であり、医学的なアドバイスではありません。健康上の懸念がある場合は、医療機関に連絡して下さい。COVID-19感染者に接触があった場合、自宅に14日間留まる必要があります。



症状



登校再開の目安

(以下は、自宅滞在の最短時間を示しています。病状によっては、より長く自宅に留まる必要があります。)

発熱: 100.4°F(38°C)
以上の熱



解熱剤を使用せずに発熱のない状態が24時間以上継続すること。同時に、COVID-19テストの結果が陰性である・またはテストを受けない場合は10日間自宅に留まること。

咳または呼吸困難



症状のない状態が24時間以上継続すること。同時に、COVID-19テストの結果が陰性である・またはテストを受けない場合は10日間自宅に留まること。百日咳と診断された場合は、学校へ戻る前に処方された抗生物質を5日間服用すること。

首の凝りや発熱を伴う頭痛



症状がないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。発熱が見られる場合は、上記の発熱の場合に従う。

下痢: 1日3回以上の軟便・
下痢。または、便通のコントロールが困難な場合



48時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

嘔吐: 原因不明の嘔吐が
一回またはそれ以上ある
場合



48時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

発疹または腫れた傷



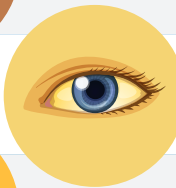
症状がなくなる(発疹が消える)こと。または、傷が乾くか、包帯で完全に覆われていること。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄色や茶色の目やにを
伴う目の充血



症状が見られない(目の赤みが取れ、目やにもない)こと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄疸: 目や皮膚が黄色くなる



医師からスクールナースへ指示があること。

理由もなく普段と違う行動を
する。例えば、異常に眠い、
機嫌が悪い、混乱している等



症状が見られない(普段の行動に戻る)、または医師からスクールナースへ指示があること。

2週間以上の病気や入院などの
大きな健康上の出来事

医師からスクールナースへ指示があること。

生徒の健康状態が、学校スタッフ
が安全に提供できる以上の
ケアを必要とする場合



生徒のための安全対策を講じた後。